

こどもの城 ニュース

KODOMO NO SIRO
NEWS

2008・12・1 NO.200 発行／〔こどもの城〕広報部 ☎03-3797-5674
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-1
http://www.kodomo-no-shiro.jp

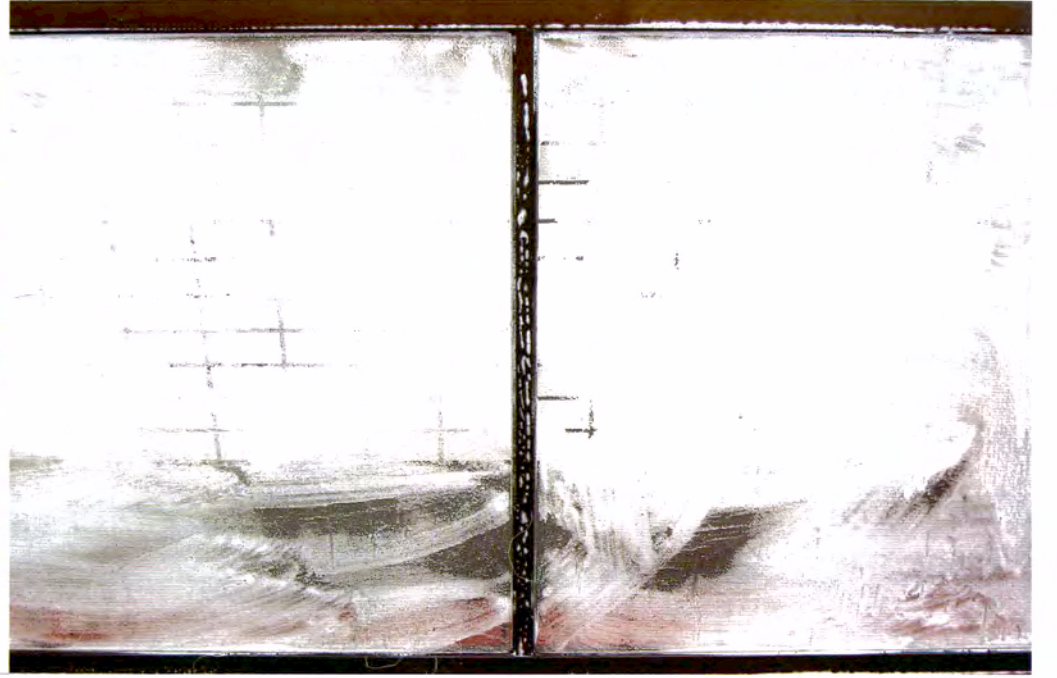
画面いっぱい
にひろがる「白」。
どこを見ればい
いのだろう？
視界がさえぎら
れてしまったよ



うで、ちょっとドギマギする。あみ戸
そうじ——ありふれた風景だが、画面
の切り取り方ひとつで、見たこともな
い風景に変えられ、驚かされる。

洗ざいのあわが、いっぱいいたあ
み戸。これから水で流すのだから、か
べぎわに立てかけてある。白いあわは、
こいところとすいところがある。意
図して作ったものではないと思うが、
なぜかあわが作りだした、まだら模
様に目をうばわれる。かすかに見える
向こう側のタイルも気になる。

(写真：中根静男／文：たかべ としき)



造形スタジオの活動から

季節を感じる「こども歳時記」

クリスマス、お正月、節分、桃の節句(ひなまつり)——冬から春にかけて、いろいろな季節の行事が続きます。春、夏、秋、冬という「四季」にめぐまれた日本には、古くから伝わる伝統的な行事から、新しく外国から入ってきて私たちのあいだに定着したもので、さまざまな季節の行事があります。〔こどもの城〕でも、季節の行事を大切に伝えていきたいと考え、さまざまなプログラムを行っています。今月は、季節行事を取り入れた「遊びのプログラム」のひとつ、造形スタジオの「こども歳時記」を紹介します。

みんなが知っているイメージをヒントに 四季おりおりの行事を「かたち」にする

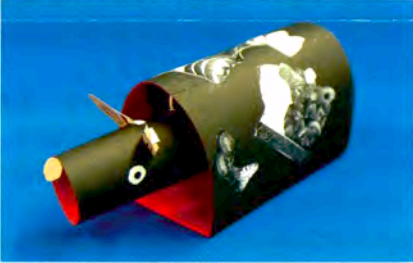
造形スタジオでは、子どもたちにさまざまな「造形体験」をしてもらおうと活動しています。造形スタジオの近くには、「なんだろう?」「おもしろそう!」というものが展示されていて、興味をひきます。どんなことをしているのかわかるかと、ついなかをのぞきこみたくになります。

造形スタジオのなかでは、たくさん子どもたちが、それぞれに「なにか」をつくっています。さまざまな造形素材(紙、布、木、金属など)を、いろいろな道具を使って手を加え、「かたち」にしています。展示されているもの

こども歳時記 お正月 (12月26日～平成21年1月12日)

お正月おせちペコ (親子コーナー)

平成21年はうし年。牛の民芸品「赤べこ」をヒントにしました。頭が上下にゆらゆらと動きます。体は、おいしいような「食材」——お正月だからいろいろなおせち料理のようでもかざります。



ペーパーおせち (クリエイティブコーナー) ※小3～

お正月といえば、おせち料理。かすのこ、なます、きんとん——重箱には入りきれないほどのごちそう。まるめる、切る、まく——すべて紙で作ります。



節分魔目(まめ)だいご (クリエイティブコーナー) ※小2～

1月17, 18, 24, 25, 31日, 2月1日
豆で作ったおにの目。顔のなかでコロコロ動いて、百面相のように表情を変えます。おなかのなかにも豆。ふると、コトコト音がします。

造形スタジオのワークショップ

竹や紙などの「素材」をいろいろな角度から取り上げる「素材との出会い展」、音や光など造形に関連することから考える「造形発見展」、表現するための方法(技法)などから造形体験する「オープンスタジオ」——この3つの方法で造形活動(ワークショップ)を行っています。「こども歳時記」は、この3つをふまえて、季節の行事に親しむ、ふれる、見直す「造形活動」として、毎年行っています。

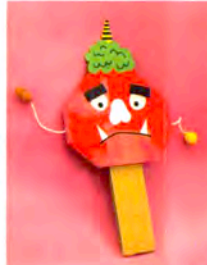
や、回りの子どもたちが作っているものを見ながら作っています。

「こども歳時記」では、それぞれの「歳時」からイメージされるものを題材にしています。クリスマスならツリー、サンタクロース、となかひ、そりなど、お正月なら門松、おそなえ、はごいた、たこ、こま、かるた、おせちなどを思い浮かべます。私たちの頭のなかには、季節の行事と強くむすびついた「イメージ(かたち)」があるようです。

こども歳時記 節分 (平成21年1月14日～2月3日)

でんでんオニ (親子コーナー)

ポール紙でつくった「でんでんだいご」のおに。糸のさきには、紙でつくった豆。くるくる回すと、カタコトかわいい音がひびきます。



こども歳時記 桃の節句 (平成21年2月17日～3月3日)

はまぐりコロリびな (親子コーナー)

貝のまをコピーした紙でつくった、大きなはまぐり。内側はきれいにかがりつけ。貝を開くと、紙をまるめてつくっただいらびながコロリ……。

ひなの実(み) (クリエイティブコーナー) ※小3～

2月21, 22, 28日, 3月1日
スチロールの球をくるむように、フェルトをまきつけて「ひなの実」をつくります。かわを切ると、なかにはおひなさまの実。



クリスマスごちそうハット (親子コーナー)

いちごがいっぱいのクリスマスケーキを食べたいと考えていたら、こんな形になりました。ぼうしにしたら、おもしろいかも……だからハットに。グリルした七面鳥など、クリスマス



のごちそうをかざったぼうしを作ります。



こども歳時記 クリスマス (12月2日～25日)

クリスマスろうルケーキ (クリエイティブコーナー) ※小3以上

12月6, 7, 13, 14, 20, 21, 23, 25日
クリスマスのケーキといえば、プッシュ・ド・ノエル。スポンジをまるめて、紙と布でかざりつけ。「ろう」をかけると、とかしたさとうが固まったようで、おいしそう!

などと、考えることもあります。「おに」といえば、つ。つのを題材に考えてみよう」ということもあります。イメージの広げ方はさまざまです。

造形スタジオが年間をとおして取り上げているテーマ——今は「食材(やさい、くだもの)」——から、考えることもあります。今回は、〈クリスマスごちそうハット〉〈クリスマスろうルケーキ〉、〈お正月おせちペコ〉〈ペーパーおせち〉。名前からわかるように、クリスマスやお正月からおもうかが「食材(やさい、くだもの)」になっています。

「季節の行事からイメージするものは、共通するものが多いようです。共通するからといっても、節分のおにの絵をかいてもらおうと、形や色が異なったいろいろなおにがあらわれます。いろいろなおにがいるからこそ、話はずみ、イメージが広がります。そこから自由に発想をひろげていくと、いろいろな作品を考えることができると思います」と造形スタジオのスタッフは話しています。

造形遊びをとおして 伝えられてきた「伝統」にふれる

季節の行事から思い浮かぶ「イメージ」を造形と結びつけたものが「こども歳時記」です。結びつけ方はいろいろありますが、子どもたちが興味をもって作れる、子どもたちのアイデアを加えて発展させることができる——などを考えながら、造形スタッフはプログラムを考えていきます。

例えば、節分のおに。大きくて、つのはやし、こわいという印象があります。「なぜ、こわいんだろう?」とふしぎに思ったら、節分のいわれを調べてみます。すると、季節の行事ひとつひとつに、意味があることがわかります。それも、プログラムを考えるヒントになります。「かわいらしいおにがいたらどうだろう?」「変身しておにになれば……」

ホットに 元気@冬休み



2008-2009 冬休み特別期間

12月25日(木)～1月7日(水)

12月29日～1月2日, 1月8-9日は休業させていただきます。

開館時間 ● 10:00～17:30

※1月3日は12:30～、入館は17:00まで

入館料 ● こども400円(3歳以上18歳未満)

● おとな500円

富士通は、人と地球が
共生できる社会のために
700万トンのCO₂削減を
めざします。

FUJITSU

THE POSSIBILITIES ARE INFINITE

※1: 杉の木5億本分が1年間に吸収するCO₂量に匹敵 ※2: 2010年までの累計削減量

【こどもの城】の楽しいクリスマス

こども歳時記～クリスマス

「クリスマス」を題材にした造形遊び。(1面参照)
◆12月2～25日(開館時間中)／造形スタジオ

パソコンでデザイン!ミニ・クリスマスツリーをつくらう

いくつかのデザインのなかから選んで、パソコンでもいとおもいに飾りつけ。プリントアウトしたものを工作して、ミニツリーを作ります。
◆12月2～25日(平日は14時～、土・日曜日・祝日は11時～10時)／パソコンルーム

GO! GO! ヴィーケル クリスマスバージョン

クリスマスツリーで飾られたジオラマのなかをNゲージの鉄道模型を走らせて楽しめます。プラレールコーナーもあります。
◆12月13～23日(平日は13時～、土・日曜日・祝日は11時～23日は16時まで)／フリーホール

※12月の休館日は、1、8、15、22、29～31日です。

おはなし人形劇場 日曜日 15時～／プレイホール

人形劇による公演。演じる人の息づかいが伝わってくる「生の人形劇」を親子でお楽しみください。月1～3回、日曜日に開催。

- 12月14日 木くつの木 さむいぞ ぷるぷる
- 12月21日 パネル劇場はねるっば キャベツとおおむし／赤鼻のトナカイ
- 12月23日 れもん座 たっちゃんといっしょ (写真右)



12月といえば楽しいクリスマス。【こどもの城】でも、造形スタジオで「こども歳時記～クリスマス」(1面参照)、パソコンルームで「パソコンでデザイン!ミニクリスマスツリーをつくらう」、Bスタジオの「こどもの城映画劇場」「わいわいスタジオ」など、いろいろなクリスマスプログラムが行われます。主なプログラムは――。

☆Bスタジオのクリスマスプログラム☆

12月7日 おもしろビデオ館 クリスマスアニメスペシャル

「フロスティ・ザ・スノーマン」(11時35分、13時、15時)と「ドルフィン 赤鼻のトナカイ」(13時45分、15時45分)の2作品を上映。協力:(株)OLC・ライツ・エンタテインメント。

12月14日 こどもの城映画劇場 カナダのアニメーション

「シンデレラペンギン」「クリスマス郵便はお早めに」「クリスマス・クラッカー」の3作品を上映。11時35分、13時35分、14時35分、15時35分

12月21日 わいわいスタジオクリスマススペシャル1

「モーモーず【ようこそ クリスマス】」
お話や音楽遊びがいっぱい――家族で楽しくクリスマス。出演は、モーモーずとそのお友だち。

12月23日 わいわいスタジオクリスマススペシャル2

「たのしみ〜ラテン音楽でクリスマス」
ラテン(中南米)音楽の軽快なリズムにのせたクリスマスソングを中心に、ピアノ、パーカッションほかで贈るミニコンサート。出演は、Foxtailgrass+。

おもしろビデオ館 金曜日 15時30分～／Bスタジオ

親子で楽しむ「ミニビデオシアター」。2～4歳くらいの幼児向け作品を選んで上映。12月はクリスマス特集。
12月 5日: マックスのクリスマス/ドアマンのノーマン
12日: モリスのまほうのふくら/ゆうかんなアイリーン
19日: マドレーヌのクリスマス

【こどもの城】開館記念ファミリーウィーク(10月25日～11月3日)では、たくさんの「家族で楽しむ」プログラムが行われました。音楽ロビーでは、音楽遊び「家族のWA」(写真下)が行われました。



L. I. T. の高校生ボランティアが企画・運営

ねぼすけチュー太郎

～はる・なチュ・あき・ふゆ お探しチュー～

【こどもの城】の高校生ボランティア――L. I. T. (Leader In Training)が企画・運営する特別プログラム「ねぼすけチュー太郎～はる・なチュ・あき・ふゆ お探しチュー～」が12月21日に開かれます。干支の動物たちは、1年の間にた

12月21日 体育室ほか

ームやクラフトに参加して「季節のかけら」を集めて、ねぼすけチュー太郎の家を飾ってください。

だれでも参加できます。L. I. T.のメンバーは「子どもも大人も、このプログラムに参加した人みんなのふれあい、交流ができればと願っています。もちろん、私たち高校生もいろいろな人と交流していきたいと思っています」。

会場は、体育室ほか。受け付け時間は11時～16時。

こどもの城・キリン・ファミリーオペレッタ

タントさんのふしぎなレストラン

12月21日 青山円形劇場

いっきとした舞台にふれて、想像力や感性をはぐむ物語のなかで夢見ることのすばらしさや、愛することの大切さを知ってもらえるように、そして心の豊かさを得られるように――そんな願いを込めて作品作りを続けている「こどもの城・キリン・ファミリーオペレッタ」。21回目を迎えた今回のタイトルは、「タントさんのふしぎなレストラン」シリーズ第3弾「コーン姫をさがせ!」。

平成21年1月2～7日に青山円形劇場で行われます。

オリジナルのストーリーを歌とパレエでつづる、家族で楽しめるオペレッタです。料理好きで、とっても元気なおばあさん「タントさん」と

孫娘の「むすび」、そして野菜の国の住人たちが巻き起こすファンタジー。青山円形劇場の「円形」という特色を生かして、客席と舞台の距離をなくし、一緒に歌ったり、芝居に

参加したりする、楽しさいっぱいのステージがくりひろげられます。

コーン姫の結婚式に出席するために、野菜の国へ行くタントさんとむすび。ところが、拳銃直前にコーン姫が行方不明に!

――野菜の国でのできごとをおし

ら、親子のコミュニケーションや食育の問題などをまじえたストーリーを軸に、むすびや周りの人の成長をえがく、心温まる物語を展開します。

公演日程は、1月2～7日(11時と14時30分。2日は14時30分の回のみ)。料金は2,800円(自由席定員制。3歳以上均一料金)。

お問い合わせは、こどもの城劇場事業本部(03-3797-5678)へ。



お問い合わせは、こどもの城劇場事業本部(03-3797-5678)へ。

お問い合わせは、こどもの城劇場事業本部(03-3797-5678)へ。

お問い合わせは、こどもの城劇場事業本部(03-3797-5678)へ。

お問い合わせは、こどもの城劇場事業本部(03-3797-5678)へ。

お問い合わせは、こどもの城劇場事業本部(03-3797-5678)へ。

お問い合わせは、こどもの城劇場事業本部(03-3797-5678)へ。

お問い合わせは、こどもの城劇場事業本部(03-3797-5678)へ。

お問い合わせは、こどもの城劇場事業本部(03-3797-5678)へ。

お問い合わせは、こどもの城劇場事業本部(03-3797-5678)へ。

お問い合わせは、こどもの城劇場事業本部(03-3797-5678)へ。

お問い合わせは、こどもの城劇場事業本部(03-3797-5678)へ。

お問い合わせは、こどもの城劇場事業本部(03-3797-5678)へ。

お問い合わせは、こどもの城劇場事業本部(03-3797-5678)へ。

お問い合わせは、こどもの城劇場事業本部(03-3797-5678)へ。

お問い合わせは、こどもの城劇場事業本部(03-3797-5678)へ。

お問い合わせは、こどもの城劇場事業本部(03-3797-5678)へ。

こどもの城となかまたち

43人が参加し、こどもの城児童厚生員等実技指導講習会

平成20年度第2回こどもの城児童厚生員等実技指導講習会が、「これからの児童館～乳幼児のひろば事業について考える～」のテーマで10月22～24日に【こどもの城】で開催され、全国の児童館・児童センターなどから43人が参加しました。

乳幼児を対象にした活動――乳幼児をもつ親子のための居場所である「ひろば」の活動に焦点を当てた講習会で、「よりよい「ひろば事業」とは～カナダ・ドロップインの考え方に学ぶ～(福川須美駒沢女子短期大学教授)、「「ひろば」で起こる課題に対応する力をつける～ケースワークから学ぶ対応の実際～(吉田真理小田原女子短期大学教授)の講義と、ひろば事業を行っているところへグループに分かれて見学・調査をするフ

ィールドワークとその見学報告・意見交換会「「ひろば事業」の実際～みて・きてい・かんじる「ひろば」～」、ディスカッション「児童館に求められるこれからの子育て支援とは」(話題提供者=新澤拓治練馬区立光が丘子ども家庭支援センター所長、島田聖子武蔵台児童館館長、奥山千鶴子NPO法人びーのびーの理事長)などが行われました。

福川教授は、30年以上の歴史をもつカナダの子育て支援のプログラム「ファミリー・リソース・プログラム」とその最初の基本的な活動である「ドロップイン」の概要を紹介したのち、「ひろば事業」のあり方について講義しました。

ドロップインとは、立ち寄りという意味。いつでも気軽に立ち寄り、親はほっと一息をつけてスタッフや参加者と交流でき、いろいろな情報を得る場。日本の「つどいのひろば」などのモデルの一つ。利用する親子が自由に

来所するノンプログラム型の活動は、気軽に交流できるような雰囲気や環境作りが大切で、プログラムがないことの意味を考えなければなりません。出会いや交流をとおして自分で

気づいていく、ス

トッフが付かず離れずつきそって一緒に問題を考えていく――参加者同士の交流を含めて「支援されたり」「支援したり」という「お互いさま」の関係作りができるもの一つが「ひろば」ではないでしょうか、と講義しました。

吉田教授は、現代の子育て支援に求められているのは、一人ひとりの子どもや家族が社会資源とな

りながら、また子育て中の家族が互いに社会資源となっていくことを仲立ちする、社会資源と家族のかけ橋としての機能。ノンプログラム型＝見守り型の支援は、何もしないようですが、することはいっぱいあります。視察した海外で出会った例を紹介しながら、支援者の動きを説明。その後、親子関係の調整、子どものけんか、利用者の交流の3つのケースを例示し、グループに分かれスタッフとしての対応のあり方を検討。ワークシートには、受付にいる「あなた」と利用者、遊具などの位置関係が描かれていて、「あなた」はなにを

を観察し、どのタイミングでどこに移動し、どのように声をかけるかなどを話し合いました。

フィールドワークでは、子育てひろば「あい・ぼーと」、練馬区立関子子ども家庭支援センター子育てひろば「関びよびよ」、東陽子子ども家庭支援センター「みずべ」(以上東京都)、港北区地域子育て支援拠点「どろっぶ」、おやこの広場「びーのびーの」(以上横浜市)の5施設を見学・調査。【こどもの城】に帰ってから、調査票に記入し、グループごとに報告し合いました。

フィールドワークの結果をグループごとに報告

フィールドワークの結果をグループごとに報告

フィールドワークの結果をグループごとに報告

フィールドワークの結果をグループごとに報告

フィールドワークの結果をグループごとに報告

フィールドワークの結果をグループごとに報告

フィールドワークの結果をグループごとに報告

フィールドワークの結果をグループごとに報告

フィールドワークの結果をグループごとに報告

フィールドワークの結果をグループごとに報告

フィールドワークの結果をグループごとに報告

フィールドワークの結果をグループごとに報告

フィールドワークの結果をグループごとに報告

フィールドワークの結果をグループごとに報告

フィールドワークの結果をグループごとに報告

フィールドワークの結果をグループごとに報告

フィールドワークの結果をグループごとに報告

フィールドワークの結果をグループごとに報告

フィールドワークの結果をグループごとに報告

フィールドワークの結果をグループごとに報告

フィールドワークの結果をグループごとに報告

フィールドワークの結果をグループごとに報告

フィールドワークの結果をグループごとに報告

フィールドワークの結果をグループごとに報告

フィールドワークの結果をグループごとに報告

フィールドワークの結果をグループごとに報告

フィールドワークの結果をグループごとに報告

フィールドワークの結果をグループごとに報告

フィールドワークの結果をグループごとに報告

フィールドワークの結果をグループごとに報告

フィールドワークの結果をグループごとに報告

フィールドワークの結果をグループごとに報告

フィールドワークの結果をグループごとに報告

フィールドワークの結果をグループごとに報告

フィールドワークの結果をグループごとに報告

フィールドワークの結果をグループごとに報告

フィールドワークの結果をグループごとに報告

フィールドワークの結果をグループごとに報告

フィールドワークの結果をグループごとに報告

フィールドワークの結果をグループごとに報告

フィールドワークの結果をグループごとに報告

フィールドワークの結果をグループごとに報告

フィールドワークの結果をグループごとに報告

フィールドワークの結果をグループごとに報告

フィールドワークの結果をグループごとに報告

フィールドワークの結果をグループごとに報告

フィールドワークの結果をグループごとに報告

フィールドワークの結果をグループごとに報告

フィールドワークの結果をグループごとに報告

フィールドワークの結果をグループごとに報告

フィールドワークの結果をグループごとに報告

フィールドワークの結果をグループごとに報告

フィールドワークの結果をグループごとに報告

フィールドワークの結果をグループごとに報告

フィールドワークの結果をグループごとに報告

フィールドワークの結果をグループごとに報告

フィールドワークの結果をグループごとに報告

フィールドワークの結果をグループごとに報告

フィールドワークの結果をグループごとに報告

フィールドワークの結果をグループごとに報告

フィールドワークの結果をグループごとに報告

フィールドワークの結果をグループごとに報告

フィールドワークの結果をグループごとに報告

フィールドワークの結果をグループごとに報告

フィールドワークの結果をグループごとに報告

フィールドワークの結果をグループごとに報告

フィールドワークの結果をグループごとに報告

「ひろば事業」実施施設を調査・見学

平成20年度第3回こどもの城児童厚生員等実技指導講習会が、平成21年1月21～23日に【こどもの城】で開かれます。テーマは「これからの児童館活動～中高生世代の「社会参加」と「居場所づくり」について考える～」。

幅広い年齢層の子どもを受け入れる児童館で、「中高生世代」を対象にした活動を考えます。「居場所づくり」だけでなく、いかに

「社会的・市民的な活動」や「ボランティア活動」へ広がっていくかなどに焦点をあてます。講師は、吉澤英子大正大学名誉教授ほか。

講習会の開催要領・概要(案)は下記のとおり。

日時 平成21年1月21～23日(3日コース)

場所 【こどもの城】研修室

対象 児童厚生施設などに勤務する児童厚生員および行事の指

導・企画担当職員など

定員 50人(先着順)

参加費 宿泊なし:14,000円(研修費のみ)、宿泊あり:25,000円(研修費14,000円/宿泊費11,000円 ※期間中の食事代金は含んでいません)

お申し込み方法 12月17日11時から先着順に電話で受け付け。定員になりしだい締め切り。1回線まで4人までの受け付けとさせていただきます。

お問い合わせ・お申し込み 子どもの城企画研修部 03-3797-5675(おかけ間違いのないようにご注意ください)

平成21年1月21～23日

中高生世代の「社会参加」と「居場所づくり」

こどもの城児童厚生員等実技指導講習会参加者募集

平成20年度第3回こどもの城児童厚生員等実技指導講習会が、平成21年1月21～23日に【こどもの城】で開かれます。テーマは「これからの児童館活動～中高生世代の「社会参加」と「居場所づくり」について考える～」。

幅広い年齢層の子どもを受け入れる児童館で、「中高生世代」を対象にした活動を考えます。「居場所づくり」だけでなく、いかに

「社会的・市民的な活動」や「ボランティア活動」へ広がっていくかなどに焦点をあてます。講師は、吉澤英子大正大学名誉教授ほか。

講習会の開催要領・概要(案)は下記のとおり。

日時 平成21年1月21～23日(3日コース)

場所 【こどもの城】研修室

対象 児童厚生施設などに勤務する児童厚生員および行事の指

導・企画担当職員など

定員 50人(先着順)

参加費 宿泊なし:14,000円(研修費のみ)、宿泊あり:25,000円(研修費14,000円/宿泊費11,000円 ※期間中の食事代金は含んでいません)

お申し込み方法 12月17日11時から先着順に電話で受け付け。定員になりしだい締め切り。1回線まで4人までの受け付けとさせていただきます。

お問い合わせ・お申し込み 子どもの城企画研修部 03-3797-5675(おかけ間違いのないようにご注意ください)

こどもの城 次世代育成支援講習会

思春期の心身の発達を考える

平成21年2月27日に【こどもの城】で

青少年が関係する事件や非行などの対応に、大人たちはとまどっています。どうしてそのような行動に至るのか、地域(学校や児童館・保育所など)ではどのような対応が求められるのか――子どもたちをとりまく社会状況をふまえながら、「思春期」への理解をさらに深め、身近にいる大人たちが、今、なにをしなければならぬのかを考える「第3回こどもの城次世代育成支援講習会～思春期の心身の発達を考える」が平成21年2月27日に【こどもの城】で開催されます。

講習会では、「思春期の心模様と関わり方」(海野千細八王子市教育委員会主幹・前教育センター総合教育相談室長)と「思春期における体の変化と性」(安達知子愛育病院産婦人科部長)の講義のほか、情報交換を行います。学校・保育所・保健センター・児童館などで子どもにかかわる専門家を対象とした講習会で、定員は50人。受講料7,000円。

お問い合わせ・お申し込みは、小児保健部(03-3797-5667)へ。

子育て支援講習会

「最新の小児保健の基礎と実際」は2月13・14日

第12回子育て支援講習会「最新の小児保健の基礎と実際～心とからだの健康0.1,2歳児～」が、平成21年2月13・14日の2日間にわたって開かれます。

児童館や子育て支援センターなどの職員を対象にした講習会。児童館や子育て支援センターなどで大きな課題となっている0～2歳児の子どもを持つ親への援助について、【こどもの城】小児保健部の専門スタッフが、実践に基づいた最新の小児保健の知識を伝えます。

13日は、「最近の子育ての問題点」(巷野悟郎・小児科医師)、「離乳食や食生活一般」(太田百合子・管理栄養士)、「健康管理や応急処置について」(梅田幸恵・看護師)。14日は、「気になる子どもの理解とその対応」(井口

由子・臨床心理士)、「子育て支援の方法と実際」(宮沢純子・保健師)。

定員50人。受講料13,000円。

お問い合わせ・お申し込みは、小児保健部(03-3797-5667)へ。

家庭を支えるということとは

1月17日に研修会「家庭支援の理論と実際」

子育て支援にかんする研修会「家庭支援の理論と実際～子育て家庭を支援するために～」の平成20年度第3回「家庭を支えるということとは」(山崎美貴子神奈川県立保健福祉大学学長)が、平成21年1月17日に【こどもの城】で開かれます。子育て相談担当者などを対象としたもので、講義だけではなくグループワークなどを盛り込んだ実践的な研修会です。

定員は50人、先着順に受け付けています。受講料は7,000円。お問い合わせ・お申し込みは、保育研究開発部(03-3797-5669)へ。

施設見学

10月8日=就実高等学校(岡山県)2年生12人。修学旅行の自由研修。

10月8日=広島県立賀茂高等学校2年生10人。「総合的な学習の時間」の一環として職業への関心を高めるとともに、体験をとおして適正を知り、進路選択への認識を深めるため。

10月16日=鳥取県鳥取東高等学校2年生4人。企業・研究施設などを訪問して、職業研究を行い、進路について考え、自己理解を深めるための機会として。

12月4日から受け付け開始!

1月から始まる【こどもの城】の講座・クラブ受講生募集

詳細は、総合案内講座・クラブ係へ 03-3797-5666

2008年ありがとうございました。

今年1年、さまざまな形で【こどもの城】を支えてくださったみなさまに、紙面を借りて御礼申し上げます。来年もよろしくお祈りします。なお、勝手ながら新年のご挨拶を省かせていただきます。悪しからずご了承ください。

2008年(平成20年)12月

※12月29日～1月2日と1月8・9日は休館させていただきます。

青山劇場 ☎03-3797-5678 http://www.aoyama.org

12月7日マS席=9,000円、A席=7,000円、B席=4,000円(当日券は500円増)

(問) 080-6648-8276

●名倉ジャズダンススタジオ 第18回公演「CAN'T STOP DANCIN' 2008」

12月11～14日マS席=7,350円、A席=6,000円 (問) 03-3404-5288

●ミュージカル「君に捧げる歌 A Song for you」

12月